第３回フレイル予防推進会議実行委員会次第

令和６年１１月６日
オンライン会議

１．挨拶

２．資料説明

（１）第２回実行委員会以降の経過

①住民啓発用パンフレット案及び同説明問答案についての構成員からの意見聴取

【資料１-①】住民啓発パンフレット案意見聴取一覧表

【資料1-①-(1)】住民啓発パンフレット案(赤字入り）

【資料１-②】住民啓発パンフレット説明問答集案意見聴取一覧表

【資料１-②-(1)】住民啓発パンフレット説明問答集案（赤字入り）

②フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集案についての構成員からの意見聴取

【資料２】基本問答集案意見聴取一覧表

【資料２-(1)】フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集案（赤字入り）

③アドバイザリー委員会の開催

【資料３】第2回アドバイザリー委員会議事次第

④第１回合同作業委員会の開催

【資料４-１①】第１回合同作業委員会の資料

【資料４-１②】第1回合同作業委員会別添資料（資料4別添２は本会議資料5-1,5-2,5-3と重複のため省略）

⑤産業部会の開催（予定）

【資料４-２】第１回産業部会資料案

（２）三点式の最終案の確定と今後の手順

①パンフレット及び説明問答集並びに基本問答集の最終確認

【資料５-１】フレイル予防住民啓発パンフレット　（A　B　C）

【資料５-２】フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集

【資料５-３】フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集

②上記３点式の全構成員の最終事前調整の方針確認

（３）第２回フレイル予防推進会議総会及びシンポジウムの開催について

①第２回フレイル予防推進会議総会について

【資料６】第2回フレイル予防推進会議総会議資料一式

（別添2別紙①、②は本会議資料5-1,5-2,5-3と重複するため省略）

【資料７】会場席配置状況

②シンポジウムの開催について

【資料８】シンポジウム広報内容

【資料９】シンポジウム詳細案

【資料10】「フレイル予防のポピュレーションアプローチに向けての新しい取組」に関するシンポジウムに参加された皆様へのアンケート

（４）新規構成員の承認について

【資料11】新規構成員の承認について

３．質疑

４．今後の進め方について

５．まとめ

【資料３】

第 2 回フレイル予防推進会議アドバイザリー委員会
議事次第

■日時：2024 年 10 月 18 日（金） 18 時 30 分～20 時

■会議形式：オンライン

■議事：

１．フレイル予防普及啓発パンフレット（案）の修正について

２．フレイル予防普及啓発パンフレット説明問答集（案）の修正について

３．委員長総括

４．その他

添付資料：

〇三点式資料に関する意見について（修正案）_20241017
資料①「フレイル予防住民啓発用パンフレット案」
資料②「フレイル予防住民啓発用パンフレット説明問答集案」
資料③「3 つの案の活用方法を含め、フレイル予防推進会議の運営について」

〇資料④ 事務局の修正_2024.10.17
〇修正 パンフレット 2 枚
〇修正 説明問答集

資料4-1①

フレイル予防推進会議・行政部会・第１回合同作業委員会次第

令和６年１１月５日

オンライン会議

１．挨拶

２．資料説明

（１）作業委員会設置経過

①組織及び活動　【資料１－１、１－２】

②作業委員会名簿【資料２】

（２）各作業委員会関係資料説明

①老健調査研究事業関係資料【資料３】

②アンケート調査案【資料４】

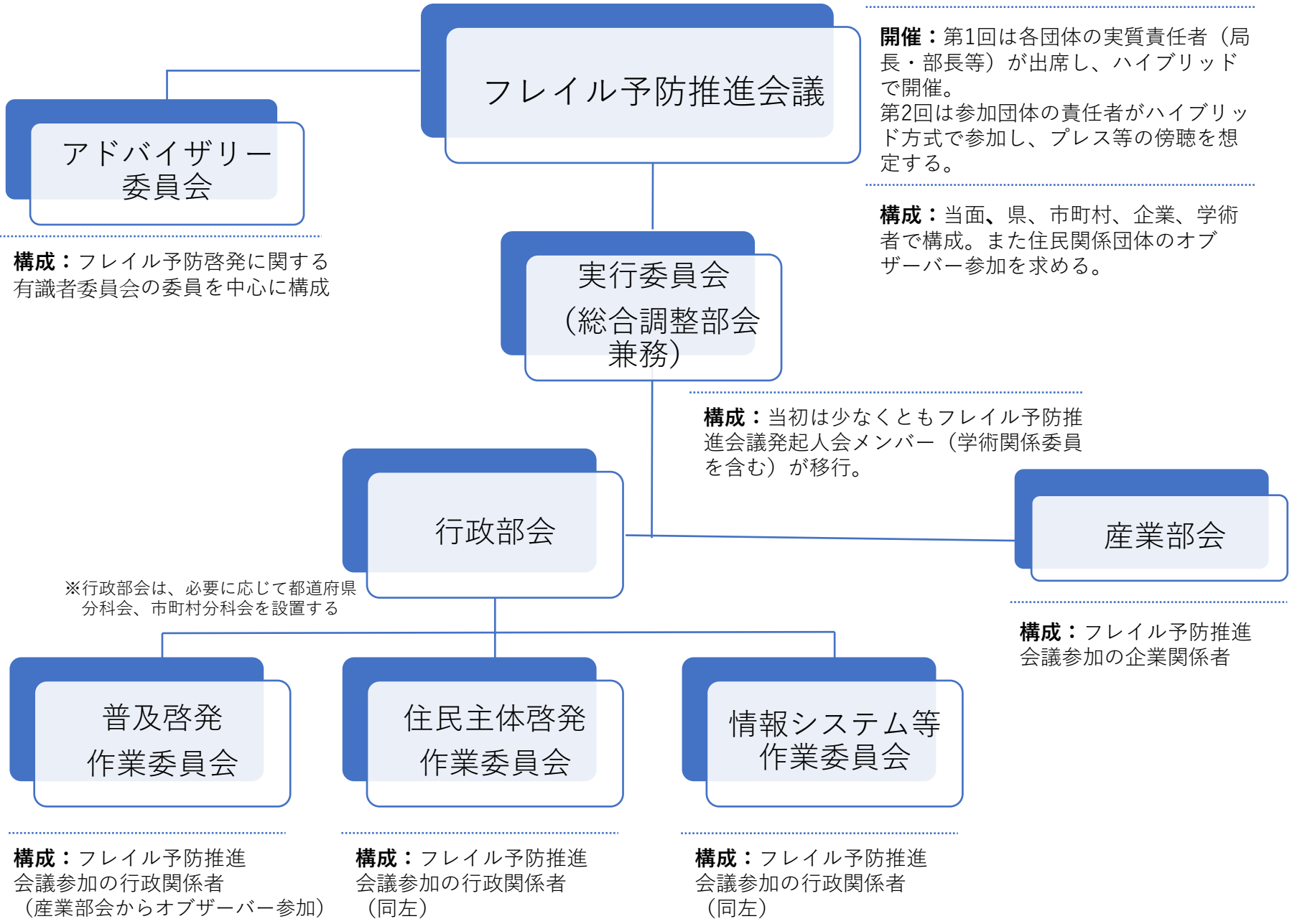
③研修プログラムの骨格について【資料５】

④フレイル予防関連情報システムの開発について【資料６】

３．審議

４．まとめ

【資料1−1】フレイル予防推進会議構成図



【資料1－2】 当面の活動について

【行政部会】

	第2回フレイル予防推進会議までの活動	第2回フレイル予防推進会議及び会議以降の活動
普及啓発 作業委員会関係	・フレイル予防住民啓発パンフレット及び説明問答集の監修についてアドバイザリー委員会に諮る ・フレイル予防のポピュレーションアプローチを推進するための職員用基本問答集案を精査する。	・アドバイザリー委員会の監修を経て、第２回推進会議で啓発パンフレット等の正式決定を行い、普及を図る。 ・職員用基本問答集を決定し、普及を図る。
	・フレイル予防啓発パンフレット及び説明問答集の案を活用し、関係方面への説明等により、広報啓発を行うとともに、フレイル予防推進会議の拡大呼びかけを各方面に行い、フレイル予防推進会議の拡充を図る。	・フレイル予防推進会議の新たな構成員を承認する。 ・フレイル予防推進会議及び同構成員が行う各方面への普及活動の方針を決定する。
住民主体啓発 作業委員会関係	**・後期高齢者の質問票を活用した通いの場等での住民主体のフレイル予防のポピュレーションアプローチの手法の開発やモデル的実践の検討を行う。**	・情報システム等及び住民啓発に関する検討状況をフレイル予防推進会議全体で共有し、同会議としての取組方針を確認する。 ・確認した取組方針に基づき、フレイル予防のポピュレーションアプローチの手法の開発やモデル的実践等を進める。
	・これまでフレイルの概念を必ずしも用いていなかったが、住民主体でのまちづくりの手法による介護予防のポピュレーションアプローチを行ってきた自治体が、新たにフレイルの概念を導入する場合のモデルな実践とその学びに取り組む。	
情報システム等 作業委員会関係	**・フレイル予防推進会議事務局が中心となってフレイル情報の収集、解析等のシステムの開発検討を行う**	
	・フレイル予防のポピュレーションアプローチの効果計測等について実践的な研究を行う。	

【産業部会】

	・総合調整部会と連携しつつ、フレイル予防サービス振興会（仮称）及び認証サービス制度の導入について検討する。	・フレイル予防サービス振興会（仮称）の設置等についての検討状況を総合調整部会を通してフレイル予防推進会議全体で共有し、同会議としての取組方針を確認する。

【資料3】老健調査研究事業について

１．位置づけ

フレイル予防推進会議事務局（医療経済研究・社会保険福祉協会）として実施

２．概要

①申請書（資料３別添１）

②スケジュール（資料３別添２）

【資料4】アンケート調査について

１．位置づけ

老健調査研究事業として、フレイル予防推進会議事務局（医療経済研究・社会保険福祉協会）が実施

２．アンケート調査の内容

①アンケート案（資料４別添１）

②三点式最終案（資料４別添２）

【資料5】研修プログラムの骨格について

１．位置づけ

老健調査研究事業として調査研究委員会において検討

２．研修プログラムの骨格素案について

第１回調査研究委員会説明資料（資料５別添）

【資料6】フレイル予防関連情報システムの開発について

１．位置づけ

医療経済研究・社会保険福祉協会が中心となって開発

２．現在の検討状況

当日配布（資料６別添）

資料4-1②（抜粋）

令和6年度 老人保健健康増進等事業の実施について

事　　業　　名	介護予防等の無関心層等に対する栄養、身体活動、社会参加を組み合わせたポピュレーションアプローチを推進するための人材育成(研修プログラムの作成等)に資する調査研究
事業実施目的・事業内容	介護予防等の無関心層等に対する栄養、身体活動、社会参加を組み合わせたポピュレーションアプローチを推進するための市町村段階における人材育成・研修プログラムを作成する。 (1)構築を目指す研修プログラムは、ⅰの総論的な研修(ゼロ次予防)とⅱの各論的な研修(一次予防)を組み合わせた研修プログラムの開発を行う。 ⅰ.「一般介護予防事業」における通いの場の整備に携わる市町村職員向けの総論的研修プログラム ⅱ. 介護予防を担当する市町村職員を念頭に置いた介護予防(フレイル予防)のポピュレーションアプローチの手法についての研修プログラム (2)研修プログラムの普及策についても提言する。 (3)担当者に対する意識調査と研修プログラム(地域住民のボランティアに対する研修を含む)のモデル試行実施を行う。

【資料６】第２回フレイル予防推進会議総会資料一式

１．議事次第

２．別添１　　フレイル予防会議のこれまでの経過概要

３．別添2　　フレイル予防のポピュレーションアプローチの啓発方針について

４．別紙①　　フレイル予防住民啓発パンフレット
フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集

５．別紙②　　フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集

６．別添３　　フレイル予防推進会議構成員 本人参加　メッセージ発言者

1．第２回フレイル予防推進会議総会議事次第（案）

１．開会

２．フレイル予防推進会議会長挨拶

３．議事（１）フレイル予防推進会議設置以降の活動報告について【別添１】

４．議事（２）今後のフレイル予防啓発方針の決定について【別添２】

５．議事（３）フレイル予防啓発推進への抱負について【別添３】

６．閉会

2. 【別添１】フレイル予防推進会議のこれまでの経過概要（１）

令和４年１２月１日　「フレイル予防のポピュレーションアプローチに関する声明と提言」
（フレイル予防啓発に関する有識者委員会：葛谷雅文委員長）

令和５年９月８日　フレイル予防推進会議準備会（２県６市町村・第１回ー第５回）
ー令和６年７月１２日

令和６年７月２４日　第１回フレイル予防推進会議総会及び第１回実行委員会開催
ー総会で住民啓発用パンフレット（案）及び住民啓発用パンフレット説明問答集（案）
の了承と第２回総会での正式決定及びその普及活動の方針決定をする旨合意。実行委員会で、
ポピュレーションアプローチの推進に関する担当者向け基本問答集（案）の公表

令和６年８月２７日　第２回実行委員会開催
ー第２回総会に向けての諸手順につき審議了解

令和６年１０月１８日　第１回アドバイザリー委員会（葛谷雅文委員長）開催
ー構成員の意見を踏まえたパンフレット（案）及び説明問答集（案）につき審議
し、答申手続きにつき委員長に一任

2.【別添１】フレイル予防推進会議のこれまでの経過概要（２）

令和６年１１月５日　第１回行政部会合同作業委員会
ー第２回総会以降のフレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する活動の当面の要点につき作業方針の確認

令和６年１１月６日　第３回実行委員会
ーフレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集の確定
ー第２回総会及びシンポジュウムの開催等につき方針確認

令和６年１１月7日　アドバイザリー委員会監修の答申
ーパンフレット及び説明問答集の監修に関する答申

令和６年１１月１２日　第１回産業部会
ーフレイル予防サービス振興会（仮称）及び認証サービス制度の導入について検討

令和６年１１月１４日　全構成員に対する事前調整
ーパンフレット及び説明問答集並びに基本問答集の最終案確定の事前調整

令和６年１１月２２日　第２回総会開催

3.【別添2】

フレイル予防のポピュレーションアプローチの啓発方針について

1. 提案理由

専門有識者により監修された最新の知見に基づいた共通の資料を基に、全国各地においてフレイル予防のポピュレーションアプローチを適正かつ円滑に推進するため、「フレイル予防啓発宣言」を行う必要がある。

2. フレイル予防啓発宣言

本日ここに、「フレイル予防住民啓発パンフレット」及び「フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集」を決定し、これらに基づき、フレイル予防のポピュレーションアプローチが全国各方面で展開されることを目指し一体となってフレイル予防の普及啓発活動を推進することを宣言する。【別紙①及び別紙②を参照】

【別紙①】

・フレイル予防住民啓発パンフレット

・フレイル予防住民啓発パンフレット説明問答集

【別紙②】

・フレイル予防のポピュレーションアプローチの推進に関する担当者用基本問答集

【資料８】シンポジウム広報内容

【テーマ】住民主体によるフレイル予防のポピュレーションアプローチに向けての新しい取組

【プログラム】

１．挨拶

川名 勝義 氏（フレイル予防推進会議実行委員長／神奈川県 福祉子どもみらい局 局長）

２．趣旨説明

飯島 勝矢 氏（東京大学 高齢社会総合研究機構長 未来ビジョン研究センター 教授）

３．ショートレクチャー

ⅰ 住民主体での質問・計測を通したフレイル予防啓発活動

ⅱ 「集いの場」等の住民主体の活動を通した介護予防のまちづくり

ⅲ 企業によるフレイル予防の推進と認証事業の試み

ⅳ フレイル予防ポピュレーションアプローチ推進のための情報システムの開発

４．パネルディスカッション

座長 飯島 勝矢 氏

ショートレクチャー演者

久木 邦彦 氏（イオン株式会社 顧問） ／ 川名 勝義 氏 等

【資料11】新規構成員の承認について

下記の自治体が新たに構成員として加入することを
ご承認いただきたい。

＊徳島県

＊神奈川県逗子市

＊神奈川県海老名市

＊神奈川県山北町